

山梨県小田原市 85歳まで
April
4・15
1998
No. 721

小田原

広

報



発行 小田原市

小田原市萩蓮300番地

☎250-8555

編集 広報広聴室

☎0465(33)1261

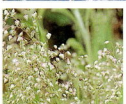
☎0465(32)4640

(毎月15日発行)



春風を感じて 大自然の中へ

日差しが一段と春めいて木々が芽を出し、虫たちが眠りから覚める季節になりました。すがすがしい風を肌で感じながらあちらこちらへ出かけてみませんか。きっとそれまで気づかなかった自然の美しさに出会えるでしょう。



●主な内容

- ◆総合計画「ビジョン21おたわら」がスタート……………2
- ◆本年度の予算はこうなる……………4
- ◆貸し出します！電気自動車……………5
- ◆機に刻まれた歴史……………12

世界にきらめく「明日の1000年都市おだわら」

総合計画「ビジョン21おだわら」がスタート

21世紀を目前に控え、時代が大きく転換していくなかで、まちづくりに地域の主體的な取り組みが求められています。私たちの暮らしはどのように変わっていくのでしょうか。そして、私たちは、次の世代にどんなふるさとを引き継ぐことができるのでしょうか。こうした期待や夢を担って、まちづくりの最を基本的で長期的な指針となる総合計画「ビジョン21おだわら」が、4月からスタートしました。

世界に誇れる魅力あるまちに

「ビジョン」は、「将来に対する見通し」、未来像」という意味です。時代の大転換期に、未来をしっかりと見通す計画であることを表しています。

	平成10年度	平成16年度	平成22年度
基本構想	[Bar chart showing duration]		
基本計画	[Bar chart showing duration]		
実施計画	[Bar chart showing duration]		

は、今回策定した計画

「ビジョン21おだわら」の構成

「ビジョン21おだわら」は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構成。「基本構想」は、平成10年度から22年度まで13年間の基本的な考え方を示す。その実現の施策をまとめる「基本計画」は、社会経済情勢の変化に対応するため、前期7年間と後期6年間に分けて策定する。基本計画の具体的な実施方法を定める「実施計画」は3、4年ごとに見直す予定。

そして、「ビジョン21おだわら」を市民と行政と一緒に進めていくための合言葉が、「世界にきらめく「明日の1000年都市おだわら」」というキャッチフレーズです。これは、恵まれた自然環境や千数百人以上も続いている都市としての歴史・文化などの資産を大切にしながら、新しいまちづくりを進めていこうという市民の皆さんへの呼びかけの言葉です。また、防災や福祉などの基本的な取り組みに加え、市民の暮らしや都市環境の質を高め、世界に誇れる魅力ある都市をつくらう、という思いも込められています。

ふるさとを私たちが自身の手で

「ビジョン21おだわら」は、市民の皆さんの声を幅広く取り入れて策定しました。3000人対象のアンケート調査、各種の懇談会、市長への手紙などいただいたご意見を参考にしながら、計画づくりのために新しい市民参加のしくみを取り入れました。特に、公募の市民100人からなる「総合計画市民委員会」は、前期基本計画の素案を行政とともに考える組織として注目を集めました。

5つのまちづくりの目標と主な施策



皆さんのさまざまなご意見から、まちづくりの方向を表すキーワードとして、「環境」「生活」「文化」「産業」「市民参加」の5つが導き出されました。「ビジョン21おだわら」はこのキーワード

に沿って5つの目標を掲げていきます。

これまでまちの発展は、単に人口の増加や都市基盤の整備状況などで計られてきました。しかし、一極集中がさまざまな弊害を生み、東京を模したまちづくりが地域の個性を失わせていくなかで、物質的な豊かさの追求、効率優先のまちづくりに疑問が持たれていました。

「ビジョン21おだわら」では、まちを発展させる要素に「交流」という視点を取り入れました。人、もの、情報などが地域間を行き交うことで、新しいものごとや価値が生まれるという考え方で、世界各国の距離が縮まり、人々の価値観が多様になってきた今、小田原の個性を際立たせ、人々の暮らしを豊かにするたぐきんの選択肢を提供することによって、交流を活性化し、まさに活力を生むという、新しいかたちまちの発展をめざしています。

基本計画に掲げた雄策のなかで「交流の舞台づくり」として、特に重点的に取り組むべき施策をまとめたのが「レインボープロジェクト」です。

交流の視点でとらえた小田原

●神奈川県の中の小田原・県西中核都市

小田原を中心に広域的な交流を考える場合の最初の枠組みが、県西地域の2市1町で構成される「県西地域広域市町村圏」です。小田原は古くからの地域の拠点を果たして役割を果たしてきました。これからは、それぞれの市の活性化への取り組みを総合的に進め、相乗効果としての魅力を高めることが求められます。

●日本、首都圏の中の小田原・広域交流都市

視野を広げると、小田原は関東地方の西の玄関口であり、静岡県や山梨県などとの県際交流の拠点、東海地方、近畿地方などの結節点です。多くの都市集積がある太平洋圏のなかで、小田原は今後も広域的な交流の拠点を果たして役割を担うことが期待されます。

●世界の中の小田原・小さな世界都市

地球全体を視野を広げると、小田原はほんの小さな一都市です。世界には人口規模や面積が小さくても、世界に名を知られ、人々があこがれるような都市がたくさありま。小田原も、自然環境、便利交通、歴史文化、豊富な人材といった固有の資源に磨きをかけ、その情報を発信し、交流を活発にしている「小さな世界都市」になることができるとしています。

レインボープロジェクトの構成

●交流の都市おだわら・時の回廊●

広域的な交流の拠点となる小田原駅や周辺市街地の再整備、城址公園エリアの整備など、歴史・文化を生かした魅力ある回廊空間をつくる。

●水とみどりのエコトピア●

せせらぎの整備や河川流域の環境保全など、ふるさとの水辺とみどりの再生に取り組み、市民がくまみで環境を優先する社会をつくるため、低公害車の普及などに努める。

●ゆったり宅地・快適ライフ●

ゆとりある小田原らしい住環境を形成するため、市街化区域内宅地の宅地化や区画整理などにより、良質な宅地を計画的に供給する。

●こころきらめく文化・芸術の森●

新たな芸術文化活動の拠点となる（仮称）城下町ホールを整備するとともに、小田原の風土や伝統、さまざまな文化的活動を大切に、個性豊かな文化が花開くまちをつくる。

●地球市民・健康ふれあいの里●

豊かな自然の中で心身のリフレッシュを図るよう、ふれあい農業公園や保養・体験エリア、海辺などを整備し、健康づくりの事業を進める。

●生き生き産業・創造の泉●

産業の立地する基盤となる工業団地を整備し、積極的な誘致活動を展開するとともに、産業コンベンションなど、産業を軸とした交流を促す。

●はつらつエンゼル・愛の環●

ふれあい交流施設を整備するなど、子供たちがはつらつと育つ環境をつくり、子供を安心して生み、育てられる社会にするため、子育て支援拠点の整備や保育サービスの充実を図る。

新しい体制で計画を強力に推進

新しい課題に取り組むながら「ビジョン21おだわら」を着実に進めるため、4月に市役所の組織・機構の体制を整えました。「レインボープロジェクト」を進めるため、プロジェクトごとにリーダーを置き、全体を統括する担当部長を配置。また、小田原駅前周辺整備のために広域交流拠点整備担当部長と広域交流拠点整備課を新設しました。

さまざまな市民参加によってできあがった「ビジョン21おだわら」を、私たちが自身の手で実現させる時がやってきました。今を生きる私たち、将来をこまめに察する子や孫たち、そしてこのまちを訪れる人々が、生きる喜びと感動を実感できるようにしたいです。

「ビジョン21おだわら」の計画書は、6月1日

このほか、交流を進めるために親任担当部長と親金企画係を、市民参加による文化事業や国際交流事業とボランティア活動の支援には市民交流課を、せせらぎのあるまちづくりに「河川課を新設。子育て支援や介護保険制度導入などの新しい課題に対応するために、子育て支援課と介護保険準備課を新設しました。

ろできあがります。この計画書は有料で頒布します。あわせて、計画の概要を分かりやすくまとめた「ビジョン21おだわら」の計画書は、6月1日

【企画政策課】3312253



平成10年度の施政方針

2月24日、市議会3月定例会で、小澤市長は平成10年度の施政方針を述べました。その要旨は次のとおりです。

新総合計画がスタート

新しい千禧の幕が開こうとしている時代の大転換期を迎え、総合計画「ビジョン21おだわら」を策定しました。千禧百年以上に及ぶまちづくりの歴史の上に、このまちは、次の千禧に生きる子孫から預かっている私らは、明日のまちづくりを長期的な視点で発想します。

交流の時代のまちづくり

大交流時代には、小田原の個性を世界に誇り得るオンリーワンの魅力が必要で高め、人々をひき付け、活発な交流を促す必要があります。そこで、交流の促進に中心的役割を担う観光について、平成10年度を「観光元年」と位置付け、総合的に施策を展開します。

新しい自治の時代へ

「ビジョン21おだわら」を進めるための柔軟で効率的な組織・機構を整え、市民が主体という理念のもとに、変化に対応できる構造改革と体質強化を進めます。そして、市民の日々の暮らしをしっかりと支えるという基盤の上に、豊かさの多様な選択ができる舞台をつくっていきます。

このほか、小澤市長は施政方針として、平成10年度を主な施策について説明しました。

本年度の予算は こうなる

市の予算には市民生活全般をまかす一般会計(表1)、高齢者・国民健康保険などの特別会計(表2)と水道・病院の企業会計(表3)の3種類があり、それぞれに歳入(取入)と歳出(支出)があり、一般会計の予算規模は59.0億円(前年度の58.3億円と比べ7億円、12%増、11の特別会計は、総額で1.0%増の6.8億円、2億0,000万円、企業会計は13%減の16.0億8,800万円となり、この結果、一般会計の総額では、0.8%増の143.8億8,000万円となっています。

平成10年度の予算が市議会3月定例会で議決されました。

好転の兆しが見られない厳しい財政状況の中で、本年度の予算は新たにスタートする総合計画「ビジョン21おだわら」を著実に進めるとともに、

行政改革や財政の健全化に留意したものとなっています。

特に都市基盤の整備や防災対策、福祉施策や環境保全対策に重点を置き、観光元年関連事業も取り入れたものになっています。

【財政課】 33-1311

ほか、道路・公園・学校などの整備のための財源として見込む「友二テスガガーデン」の完成などにより借入額が少なくなった結果、3億5,800万円減の37億4,000万円です。市債依存度は6.3%で前年より0.7ポイント低くなっています。

歳出の民生費は、介護保険制度の準備、24時間対応型ホームヘルパー派遣事業のほか、生活保護費や福祉施設利用者の処遇費などの扶助費の増などにより、5.3%の伸び、総務費は、いよいよ本番を迎えるかながわ・ゆめ団体の開催経費、防災対策基金の積み増しや印刷オンラインシステムの導入などにより9.2%の増となっています。

「手本は二宮金次郎」

文 小澤良明

「衣食足って礼節を知る」で、過去の歴史を見て経済の安定が国の本質である。しかし昨今の金融・経済の激変と国家国民の範たるべき振舞の地位に、面々の倫理、公徳心の欠如が目を見えられた。「道徳本」と経済門」を説かれた「宮澤徳良氏の爪の垢でもせんで飲んだら良い」と思う。

混濁した世相の中で、郷土の偉人、孝徳翁の実践、実学から発したその思想、哲学があらためて脚光をあびている。

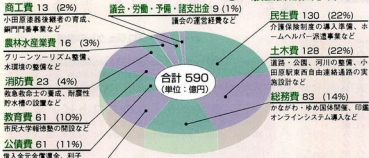
市長という私自身の立場から言っても、この世の事象すべては、一つの円のような繋がりがあるもので永遠の繰り返しの中にある、という翁の「一円論」の思想は、まさしく市民と行政のパートナーシップにも例えられる。報徳思想の中心をなす「分限」とは、正統、綿密な情報収集のとも、実情を正確に分析、認識し、しっかりとした計画のもとに結ぶにあたるということに、「推測」は最も努力を、

まさに自身やまちは豊かになつて、その上で余力があれば周囲や地域社会に還元する、或いは次代にその善報を「道徳」として理解する。更に「道徳」と「経済門」で、倫理、道徳の欠如しているところに真の繁栄や幸福は有り得ない、と人の生きざまやまちなつくり

一般会計予算は59.0億円

歳入の主なものとしては市税で、総額は35.7億円と全体の60.5%を占めていますが、特別減税による7億円の減収の影響で、前年度と比べ2.6%、9億円増と低い伸びに なっています。このほか、地方債と消費税は、消費増税がなくなったことにより、42.3%、3億円の減となる一方、平成9年度に創設された地方消費税交付金は23億円を計上してあります。国庫・県支出金は、全体の13%を占めています。また、財産収入と繰入金金は、それぞれ38.9%、19.6%の減、諸収入の中で競輪事業収入は13億円を見込んでいます。市の借入金である市債は住民税等減税補てん償の

●一般会計歳出予算(表1)



会計名	10年度予算
一般会計	590億円
競輪事業特別会計	294億円
天守閣事業特別会計	1億7,200万円
下水道事業特別会計	120億3,000万円
国民健康保険事業特別会計	114億7,000万円
国民健康保険施設整備事業特別会計	3,000万円
交通安全共済事業特別会計	7,400万円
公設地方売却市場事業特別会計	2億3,300万円
老人保健医療事業特別会計	141億1,100万円
片岡地区取水水道事業特別会計	4億4,400万円
共用地先行取得医療事業特別会計	2,900万円
計	687億2,000万円
水道事業会計	56億2,200万円
病院事業会計	104億6,600万円
計	160億8,800万円
合計	1,438億800万円

●平成10年度各会計予算(表2)

特別会計のうち、増減の著しい会計について説明します。競輪事業は通常年度の乗券売上の増収見込みより1億2,000万円(前年比2.5%)増、天守閣事業では、歴史見聞館が完成したことで2億1,000万円(55.7%)減となっています。下水道事業では6億2,200万円(5.2%)の減となる一方で、医療給付金が増加している老人保健医療事業は、8億9,900万円(6.8%)の増となっています。成田・桑原土地区画整理事業では、事業用地が一部売れたことで1億7,600万円(17.6%)の減となっています。

予算額、割合は四捨五入した数字になっています。詳しい内容を知りたい方は、行政情報センター(市役所4階)と図書館で予算書をご覧ください。

市長随想

貸し出します！ 電気自動車



- 低公害車100台の導入目標
- ハイブリッド・バスの購入など

いつのときも、おもいきり深呼吸のできるまちでありたい！
そんな思いから、小田原市では積極的な低公害車の導入に取り組んでいます。

■低公害車普及促進計画
市は昨年1月に、建設省・通産省や環境庁の協力を得て、小田原市低公害車普及促進研究会を設置。低公害車の普及の方向性について検討を重ね、「小田原市低公害車普及促進計画」を作りました。
本市が導入を計画している車は低公害車の中でも特にクリーン度が高い電気自動車、メタン1ル車、ハイブリッド車、天然ガス車といった4種類の低公害車を行政（市役所）で積極的に導入していきます。そして、低公害車のレンタル事業や購入費補助の実施、優先駐車スペースの設置や駐車料金の減額を検討するなど、市民・企業が低公害車を導入しやすい環境作りを進めます。

計画では、平成14年までに市民・企業・行政と合わせて100台の低公害車を小田原市内に導入することを、目標の一つとしています。

■低公害車バスを購入

平成10年度に、市の公用車として55人乗りのハイブリッド・バス1台とハイブリッド乗用車2台を購入しました。
これで市の低公害車は乗用車3台、バス1台の計9台になります。

■貸し出します！電気自動車

小田原市の電気自動車を、皆さんで試乗してください。低公害車の一つである電気自動車に乗ってみると、その性能やクリーンさを実感できるはずです。

貸出対象：市内在住者、市内の企業
貸出車：トヨタRAV4L EV・1台
貸出方法：予約によって貸し出します。詳しくはお問い合わせください。

■低公害車の購入費を補助

市内在住者と企業を対象に、同型ガソリン車との差額の4分の1程度まで補助します。
詳しくは広報おだわら5月15日号でお知らせします。

アイドリング・ストップで きれいな空に

大気汚染の原因である窒素酸化物の半分は自動車から出ています。

4月1日から別の条例で、駐車時のアイドリング・ストップが義務付けられています。

燃料の節約と排気ガス対策のためにも、皆さんもアイドリング・ストップを！

歴史や文化も環境です

美しく住みよい小田原の環境を後世にいつまでも伝えたい。そんな願いから、このほど市環境基本計画を作りました。

環境基本計画

小田原の環境の将来の基本方向

風土や景観、歴史・文化、地場産業までも取り込んだ広い範囲を「環境」の範囲としているのが大きな特徴です。行政の役割とともに市民事業者、団体、観光客の役割も提案しています。

1 環境への負担の少ないまちづくり

2 省資源・循環型社会を目指したまちづくり

3 身近な自然とのふれあいを目指したまちづくり

4 小田原らしい文化・風土を活かしたまちづくり

5 広域的・地球的視野に立ったまちづくり

環境保全課 電話 33-481

の根幹を鋭く喝破している。まさに今や、手本は二宮金次郎。なのである。



しかし振り返って本市や市民の中で深徳思想というものがどれほど広く深く息づいているかと自問してみると、翁とご縁のある他市町村と比較して若干の引け目を感じざるを得ない。
結果的にこうなった原因は不明だが、あえて私なりに考察すれば戦前、国家主義の時代に上手く利用されたように、刻苦勉強、勤儉貯蓄のイメージの地味で献身的い翁の考え方やあり方が、比較的のんびりして豊かなこの地の気候風土になじみにくかったのかも知れない。また農民出身の金次郎の立身出世や偉業に一般庶民の中にも屈折した感情が当時からあってそれが原因となったのか、或いは足柄平野一帯には親類、縁者等が一杯いて、金次郎像や尊徳像が他所より生々しくとらえられている故なのかも、等々一人よがりであるのかもしれない。
いずれにしても信奉者の方々が桜井地区の皆さんがしっかりと守り続けて下さった尊徳翁の灯を本市としても今後さまざまな形で燃え上げさせていかなければならないと考えるのである。

あなたの声が窓口を変えました



戸籍住民課では、「あなたの声が窓口を変えました！」をテーマに支所・連絡所・窓口コーナーのカウンターにアンケート用紙を置き、親しみやすい窓口を目指しています。

皆さんからのご意見の中で取り組んだ事項をお知らせします。

Q 土曜日でも開所していればありがたい。検討を!

A 小田原駅前・国府津駅前にあるふらっとスポットの窓口コーナーでは、土曜日の午前中でも住民票、印鑑証明(予約必要)などの証明書を発行します。また、マロニエでは前もって電話予約していただければ土・日曜日に証明書を発行します。詳しくは、戸籍住民課(☎33-1381)へお問い合わせください。

市役所以外でも戸籍や住民異動帳、証明書の発行

を行う窓口が12か所ありますので、お近くの窓口をご利用ください。

マロニエ住民窓口	☎ 47-7000
大塚支所	☎ 22-6417
早川支所	☎ 22-6202
桜井支所	☎ 36-0303
豊川支所	☎ 36-5222
上府中支所	☎ 42-1628
下管沢支所	☎ 42-0954
片浦支所	☎ 29-0121
曾我支所	☎ 42-1636
橋支所	☎ 43-0111
中央連絡所	☎ 24-3431
富水連絡所	☎ 37-1711

●申請書の用紙がわかりにくいとのことから、この4月から様式を変更しました。

☎戸籍住民課 ☎33-1381

いじめなんでも相談・いじめ目安箱

「学校でのいじめに悩んでいるけれど、友だちや先生、親にも話せない…」そんなときは、ちょっと勇気を出して電話をください。電話をかけられない人は、手紙をください。保護者からの相談もお受けいたします。

○電話「いじめなんでも相談」

☎ 33-1729

受付時間 月～金曜日 午前8時30分～午後5時(それ以外は留守番電話)

○手紙「いじめ目安箱」

あて先 〒250-8555 小田原市教育委員会

学校教育課「いじめ目安箱」係

☎学校教育課 ☎33-1684

勤労者のための公的融資相談

ローンを利用して住宅を取得しようと考えている勤労者の方のための相談会です。

日時 4月25日(土)午前10時～午後2時30分

場所 市民会館

相談内容

- ・住宅金融公庫の融資制度
 - ・厚生年金貯蓄融資制度
 - ・県の利子補給制度と生活資金融資制度
 - ・県高齢者居宅整備資金
 - ・市の利子補給制度と生活資金貸付制度
- ☎県労働金庫小田原支店 ☎24-3322

中小企業小口資金が 利用しやすくなりました

4月1日から、中小企業小口資金の申込方法や融資限度額などが変わり、利用しやすくなりました。

融資限度額

・運転資金 500万円→700万円

・設備資金 800万円→1,000万円

返済期間 7年以内

融資条件 年間で1年以上同じ事業を続けている中小企業者で、市税を滞納していない方

取扱金融機関 さがみ信用金庫、横浜銀行、

スルガ銀行、小田原第一信用組合

☎商工課 ☎33-1511

下水道工事技術者の資格試験

市下水道排水設備工事技術者の資格試験を行います。受験資格、試験内容、試験会場、試験手数料などはお問い合わせください。

講習会 5月15日(金)

筆記試験 5月19日(火)

☎4月15日(水)～24日(金)に、

下水道総務課 ☎33-1615

市議会3月定例会

2月24日(火)から3月26日(木)まで開会。

審議された主な内容は次のとおりです。

- ・専決処分(事故賠償)2件の報告
- ・小田原市非常勤の職員公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例ほか、12件の条例の一部改正と廃止
- ・小田原市基本構想を定めること
- ・市道路線の認定を変更
- ・監査委員に岩田農夫男さん、秋山栄雄さんを選任

※3月定例会の議案は、行政情報センター(市役所4階)、支所・連絡所でご覧いただけます。くわしい内容は、自治会を通じて

市民プラザ

●陶芸同好会第16回展

高齢者の生きがい教室で習った方の作品展です。

日時 5月8日(金)～10日(日)

午前9時～午後5時(8日は10時から、10日は4時まで)

場所 市民会館

☎中川 ☎36-1037

●小田原室内合奏団定期演奏会

日時 5月9日(土)午後7時～

場所 市民会館

演奏 C.P.E.バッハ「シンフォニア第2番」ほか

チケット S席 4,500円/A席 3,500円
学生券 1,000円 志沢デパート、大村楽器、井上楽器で発売(当日券あり)

☎堀江 ☎23-3681

●全日本空手道剛柔会

空手道の初心者・子供の体験教室です。

日時 4月21日(火)・28日(火)・5月12日(火)・19日(火) 午後6時30分～8時

場所 城山中学校(柔剣道場)

申し込み 初日に会場

☎田中 ☎22-1505

●アマチュア無線技士 養成課程講習会

日時 5月23日(土)・30日(土)・31日(日)

午前9時30分～午後5時30分

場所 市民会館

定員 60人・先着順

受講料 22,450円

申込 5月16日(土)までに、

ホビー無線 ☎37-3561

●小田原少年少女合唱隊新期生募集

日時 4月26日(日) 午前9時30分～

場所 報徳講堂(寂蓮)

申し込み 小学校や井上楽器にある申込

用紙に記入し、当日持参。

☎内田 ☎37-8658

5月1日号の広報おどらと一緒に配られる「市議会だより」をご覧ください。

☎行政総務課 ☎33-1291

ごみの出し方～紙布類～

「紙布類の日」に出せるのは、新聞・雑誌(雑誌やボール紙・段ボール・紙パック(500㎖以上の牛乳パックなど)・布類の5種類です。紙類は袋に入れての種類のごとにひもで4文字に縛って、布類は透明または半透明の袋に入れて出してください。

紙布の日に紙と出してせないものがかなり含まれているため、リサイクルの妨げとなっています。特別加工してある紙は燃せるごみになりますので、分別するときにもう1度確認して出してください。

●紙と出してせないもの

写真 感熱紙 ビニールコート紙 内側が銀色の紙パック 油紙 ワックス加工紙(紙コップなど) カーボン紙 布張りの紙など

●布と出してせないもの

綿入りのもの 布回や毛布 ジュータン カーペット ストッキング 雑巾など

収集日が雨のときは予備日に出してください。予備日は同じ週の金曜日か土曜日です(地区により異なりますので、ごみカレンダーなどで確認してください)。

また、せっかくなので資源として回収しても古紙を使わなければ、リサイクルする意味がなくなってしまう。再生紙を積極的に使用しましょう。

☎環境事業センター ☎34-7325

環境総務課 ☎33-1471

健康

保健センター ☎ 47-0820

健康カレンダーは1年間保存を

平成10年度版「健康カレンダー」は4月初めに自治会を通じてお届けしました。

ご家庭を通じの方は、保健センター、市役所（2階総合案内）、支所・連絡所でも受け取れます。1年間保存してご利用ください。

休日診療カレンダー

	内科	小児科	耳鼻 咽喉科	眼科	歯科
4月19日(日)	○	○	○	○	○
26日(日)	○	○	○	○	○
29日(水)	○	○	○	○	○
5月3日(日)	○	○	○	○	○
4日(月)	○	○	○	○	○
5日(火)	○	○	○	○	○
10日(日)	○	○	○	○	○
17日(日)	○	○	○	○	○
24日(日)	○	○	○	○	○
31日(日)	○	○	○	○	○

場所 保健センター

受付 午前9時～11時30分

午後1時～3時30分

健康保険証をお忘れなく！

準夜間診療（内科・小児科）の受付は、

毎日午後7時～10時

●休日夜間急患診療所 ☎ 47-0823

●休日急患歯科診療所 ☎ 47-0825

●休日夜間急患調剤薬局 ☎ 47-0826

●重傷のときは24時間いつでも

消防本部 ☎ 49-4410

生活習慣病予防

●基本健康診査・がん施設検診

対象 40歳以上

場所 健康カレンダー掲載の取扱医療機関。

受診料が一部かかります。

●胃がん集団検診（保健センターまで電話申込・900円）

対象 40歳以上・60人

日程・場所

5月7日(木) 豊川公民館
12日(火) 矢作公民館
15日(金) 上府中公民館
27日(水) 保健センター
28日(木) 富水連絡所
29日(金) 町田公民館
受付 午前8時～10時30分

献血

●小田原駅 献血
4月27日(月)
5月17日(金)・11日(月)・25日(月)・29日(金)
●イトーヨーカドー 2階
5月8日(金)
時間 午前10時～正午、午後1時～3時30分

食中毒に注意を

手を洗う、十分に加熱する、早めにご食べるなど、食中毒予防に心がけましょう。

次のような症状があったときは、医師の診断を受けてください。

・鋭い腹痛・鮮血を伴う下痢・発熱や吐き気

5月の乳幼児健康診査など

受付 午後1時～2時

場所 保健センター

持ち物 母子健康手帳

*1歳6か月児、2歳児は歯ブラシ

*3歳児は3歳児健診アンケート、目と耳のアンケート、早朝尿

4か月児健診	平成10年 1月生	7日	11日	18日
指定医療機関	無料			
8～9か月児健診	平成9年9月生れの方では健診票などを後日送付します。それ以降に誕生の方は、4か月児健診で健診票などを配布します。			
1歳6か月児健診	平成8年 10月生	1日	15日	22日 25日
2歳児 歯科健診	平成8年 4月生	13日	20日	27日
		受付/午後1時30分～2時30分		
3歳児健診	平成6年 10月生	12日	19日	28日
マタニティ クラス	前期 7日 後期 18日	11日	30日	受付/午後1時～1時20分
定例育児相談	13日	毎月第2水曜日 受付/午前9時30分～11時		

※マタニティクラスが新しくなり、妊娠23

週ごろまでの前期コース、24週以降の後期コースと、2つのクラスに分けました。

平日に仕事を休めないお母さん、お父さんのために5月は土曜日（5月30日）も設けました。

すこやか健康相談

高血圧、高脂血症、糖尿病など生活習慣病に関する相談。その他、健康、疾病に関する相談に保健師、栄養士がお答えします。

日時 4月17日(金)、5月15日(金) 午前9時～11時

場所 保健センター（電話申込必要）

糖尿病教室

日時・内容・講師

- 5月21日(木) 午後1～4時
「糖尿病について」 小田原医師会医師
- 5月29日(金) 午後1時30分～4時
「運動についての話」 体育トレーナー
- 6月5日(金) 午後1時30分～4時
「食事についての話」 管理栄養士と保健師
- 6月23日(火) 午前10時～午後1時
「調理実習 糖尿病の食事づくり」
管理栄養士と保健師

場所 保健センター（5月15日までに申込）

対象 糖尿病治療中の方、血糖値・尿糖が気になる方

持ち物 健康手帳

税・年金

納期の変更

平成10年度固定資産税・都市計画税の第1期分の納期が変更になります。

第1期分納期 6月1日(月)

納税通知書は5月1日に発送します。

☎ 資産課課 ☎ 33-1361

国民年金保険料の前納は4月30日まで

平成10年度分国民年金保険料の納入通知書は、お手元に届きましたか。

また、1年分または前期6か月分の一括前納で口座引落しを希望した方にも、引落し額の通知を送りました。納入通知書や引落し額の通知が20日までに届かなかった方は、国民年金係まで連絡してください。

1年分または前期6か月分の一括前納の納付期限は、4月30日(木)です。口座振替の方は残高をご確認ください。4月30日を通さないと前納扱いになりませんのでご注意ください。

☎ 保険年金課 ☎ 33-1867

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

始めます！外国人相談デー

日時 奇数月の第1金曜日（5月から）

午前9時～午後4時

場所 市民交際課（市役所5階）

相談内容 市役所での窓口手続きの方法、日常生活での悩みごと

対応言語 英語、ポルトガル語、中国語（通訳と職員が対応します）

☎ 市民交際課 ☎ 33-1707

校庭樹木への薬剤散布

毎年4月から10月までの間、小・中学校と幼稚園の樹木に、薬剤散布をしています。散布は、学校周辺にお住まいの方には、事前に学校から、また、近くを通行される方には、立て看板などにより、お知らせします。使用している薬剤は、毒性の比較的低いものですが、大量にあびるとアレルギー体質や呼吸器疾患をお持ちの方は、めまいや吐き気などの症状が、皮膚の強い方は、かぶれなどの症状が出るおそれがあります。

校庭樹木への薬剤散布は、風が強い時は散布を控えるなど配慮していますが、薬剤をあびてしまったときには、石鹸でよく洗ったり、うがいをしてください。

☎ 教育総務課 ☎ 33-1673

成人学校スプリングセミナー この春、自分を磨く! 20科目開催

成人学校は年3回開かれ、スプリング・オートム・ウインターの各セミナーがあります。それぞれ講座は、参加者の要望を参考にしたり、社会情勢を考えたりして、企画されています。

今回のスプリングセミナーでは、20科目を用意しました。意外と知らない小田原の芸術文化、女性に人気のハーブの育て方、自宅でできるガーデニングなど、この春からチャレンジできるものばかりです。おすすめの3つの講座を紹介します。

●中国語入門

近いようで遠い国「中国」の言語を半年かけて勉強する初心者向けの入門講座。中国語を学びながら、中国の歌などの芸術文化にもふれます。講師は、中国天津出身の趙秀恵さん。中国で教師を30年勤めた大ベテランです。秋には、「国際理解へ中国を知る」の講座も予定しています。

●小粋なキャンプ アウトドア入門

塔ノ峰青少年の家での実践キャンプを取り入れた即実用的な科目。はじめの5回でキャンプのあれこれを学び、1泊のキャンプを体験

します。料理が苦手という方もだいじょうぶ! キャンプ料理の予習を調理実習室で開催予定。講師は、テレビチャンピオンのアウトドア部門で全国準優勝の実績をもつ大武さん。道具をそろえる準備から紹介してくれます。

●郷土を探る 国府津町史

国府津公民館20周年を記念して開催します。明治20年に、横浜-国府津間の鉄道が開通。国府津駅の設置はこの地方の新文化に大きく貢献しました。小田原の鉄道の変遷を語る際には、国府津駅の歴史は切り離せないもの。そのほか、国府津にまつわる郷土の歴史文化を紹介します。

対象 市内在住・在勤・在学の16歳以上の方
申込方法 往復はがき(5月8日必着)。または、抽選日に直接会場です。科目一覧や詳しくは申込方法などは公共施設の窓口で配布しているちらしをご覧ください。

*託児可能な講座もあります。お問い合わせください。

中央公民館 ☎ 35-5300

国府津公民館 ☎ 48-2035

(各分館の問い合わせは中央公民館へ)

■中央公民館会場 ○抽選 5月13日(水)午後2時 中央公民館

科目	日程	回数
・高野雄枝の世界〜女性史を考えよう〜	6月〜7月毎週火曜の午後	8回
・中国語入門〜正確な発音練習から聴き取り会話まで〜	6月〜12月隔週火曜の夜間	15回
・小田原の芸術文化を知る〜ビデオや実演を見て本物にふれよう〜	6月〜11月火曜の夜間	7回
・ハーブに親しむ〜ハーブを育て、クラフトとクッキング〜	6月〜8月毎週水曜の午後	10回
・スターウォッチング	6月〜2月水曜の夜間	7回
・鎌倉彫〜基本の1本線彫り・お盆作り〜	6月〜7月毎週水曜の午前	8回
・小粋なキャンプ アウトドア入門	6月〜7月毎週木曜の夜間	7回
・The 護身術〜自分の身は自分で守ろう	6月〜7月毎週木曜の夜間	8回
・古事記の世界パートII	6月〜7月毎週金曜の午前	8回
・迷いしきのアート〜材料集めから始めて自然に親しむ〜	6月〜7月毎週土曜の午後	8回
・クラシックギター教室	6月〜3月第2・4土曜の午前	17回

■国府津公民館会場 ○抽選 5月21日(水)午後2時

科目	日程	回数
・生活オアシス ガーデニング	6月〜8月第2・4木曜の午前	6回
・手作りアクセサリー セブ染	6月〜8月毎週水曜の午後	10回
・郷土を探る 国府津町史	6月〜7月毎週水曜の午後	6回
・短歌入門	6月〜8月毎週土曜の午後	10回

■分館講座

科目	会場	日程	回数
・実用書道	豊川分館会場	6月〜7月毎週水曜の午後	8回
抽選 5月21日(水)午後2時			
・トールペイント	上府分館会場	6月〜7月毎週水曜の夜間	6回
抽選 5月20日(水)午後2時			
・組紐講座	大塚分館会場	6月毎週火曜(10時〜4時)	3回
抽選 5月26日(水)午後2時			
・おもてなしの料理講座	梅の里センター	6月〜7月毎週水曜(10時〜1時)	8回
抽選 5月20日(水)午後2時 下旬我分館で			
・初歩の英会話	尊徳記念館会場	6月〜7月毎週金曜の夜間	8回
抽選 5月22日(金)午後2時			

小田原ゆかりの優れた建造物見学会

「小田原ゆかりの優れた建造物」に認定した3件の建造物をマイクロバスで巡回します。普段は公開はしていませんので、この機会をお見逃がしなく。

日時 5月22日(金)・23日(土)午後1時〜4時
見学場所 諸戸邸、岩瀬邸、山月(共寿亭)

定員 各日25人・抽選

参加料 60円(傷害保険料)

応募方法 往復はがきに見学希望日、代表者の住所、氏名、電話番号、参加者全員

(4名まで可)の氏名を書いて送付。

申込 5月8日(金)必着。〒250-8555 小田原市役所文化財保護課 ☎ 33-1717



周辺道路総合交通規制

4月23日(木)〜28日(火)

5月10日(日)〜12日(火)

☎ 事業課 ☎ 23-1101

フリーマーケット出店者

環境問題を身近に考えるイベント「エコライフフェア」でのフリーマーケット出店者を募集します。

日時 5月31日(日)午前10時〜午後4時 雨天のときは6月7日(日)

場所 旧三の丸小学校跡地
形態 手持ち出店(1区画2m×3m)。出店者用の駐車場あり。

対象 市内在住者(プロは不可)・抽選
応募方法 往復はがき(1人1通)に、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、勤務先(学校名)、電話番号、出店品目を書いて送付。

申込 5月15日(金)必着。〒250-8555 小田原市役所環境総務課 ☎ 33-1471

わがまがよいとご応援事業

活力あふれる市民参加のまちづくりを進めるため、自主的にまちづくりに取り組むグループに、その事業費の一部を補助します。今までは、地域の公園の清掃や植栽、地域の歴史の研究などの活動をしている団体に補助をしています。

対象
①自治会、子供会、PTA、老人会など
②市内在住・在勤者10人以上の団体
補助額 人件費・委託料・食料費を引いた経費で、1事業につき経費の5割以内(限度額30万円)

補助期間 同一事業に対して3年以内
応募方法 市民交流課(市役所5階)にある申請書に必要事項を書いて提出。

申込 6月30日(火)必着。
〒250-8555 小田原市役所市民交流課 ☎ 33-1703

健康

保健センター ☎ 47-0820

予防接種

●ポリオ(小児まひ生ワクチン)

対象 3か月〜7歳5か月児

時間 午後1時30分〜2時30分

日程 5月6日(水) 保健センター

8日(金) 保健センター

11日(月) 市役所7階

13日(水) 保健センター

14日(木) 保健センター

18日(月) 市役所7階

20日(水) 保健センター

21日(木) 保健センター

25日(月) 市役所7階

26日(火) 保健センター

●個別接種

「健康カレンダー」をご覧ください。

募集

Odawara City Needs Enthusiastic Volunteer Instructors

Odawara City Board of Education is looking for volunteer instructors.

Volunteer's job:

To instruct children in municipal elementary schools through international exchange classes and events in order to enhance the international understanding.

Qualifications:

Applicants must be native English speakers, living in Odawara, who have a certificate of eligibility, speak conversational Japanese, and have an interest in international exchange issues.

Working period:

From May 1, 1999 through March 31, 1999. Working days will be decided based on consultations with schools, the Board of Education and volunteers.

Further information:

Please call Mr. Koizumi at the School Education Section. ☎ 33-1684

子どもたちと交流 外国人ボランティア

市立小学校の国際交流授業や行事で、子どもたちを指導する外国人ボランティアを募集します。お知り合いにご紹介ください。

対象 在留資格があり、市内在住で英語圏からの外国人。簡単な日本語の会話ができる方

活動期間 5月1日～平成11年3月31日

☎ 学校教育課 ☎ 33-1684

中小企業技術者研修生

神奈川県では、県内中小企業の技術人材育成のための研修事業をしています。研修費用を国と県が3分の1ずつ負担します。

☎ 県工業技術研修センター

☎ 0462-35-5610

	コース名	時期	日数	時間帯	定員	会場
長期	機械技術科	5月～3月	50日	昼・夜	20人	海老名市
	材料化学科					
	電子技術科					
短期	建築構造技術	6月	6日	昼	25人	横浜市
	プラスチック成形加工科	6～7月	6日	昼・夜	20人	海老名市
高等	生産管理科	9～12月	7日	昼	20人	海老名市
	パソコン活用による情報技術科	10～11月	14日	昼	15人	海老名市
新技術	最近の構造用接着技術	7月	2日	昼	20人	横浜市
	ISO 9000と品質保証	7月	2日	昼	20人	海老名市
	木製商品開発科	7月	3日	昼	20人	小田原市
	センサ技術入門と画像処理	11月	3日	昼	20人	海老名市
	ISO 14000と認証取得	11月	2日	昼	20人	横浜市

国際交流事業 4月15日から参加募集開始

詳しくは募集要項をご覧ください。要項は市民交流課（市役所5階）、支所・連絡所・窓口コーナーなどにあります。

■オーストラリアとの交流

「ときめき国際学校」

対象 市内在住の中学2年～高校3年

■アメリカとの交流

「海外姉妹都市チュラピスタ市青少年派遣」

対象 市内在住・在学中の18～28歳

■ボランティアスタッフ

・市民スタッフ と きめき国際学校などの

交流事業でのさまざまな協力

・ホストファミリー 来日が予定されている

オーストラリア・アメリカ・ドイツの

方々のホームステイ受け入れ。

☎ 市民交流課 ☎ 33-1707



おだわら塾推進委員

きらめき☆市民教授(118人、20団体)と協力して、市民の生涯学習活動を支援するおだわら塾を企画・運営します。月1～2回平日の昼間に活動できる方を募集します。

定員 15人 (任期2年)

応募方法 住所、氏名、生年月日、電話番号、簡単な自己紹介、応募の動機、おだわら塾に対する意見などを400字くらいまとめて送ってください。

☎ 4月30日(木)必着 〒250-8555 小田原市役所生涯学習課 ☎ 33-1720

市立病院臨時職員

職種 理学療法士、作業療法士、看護婦・准看護婦。看護婦の夜間勤務専門(病棟)
[準夜勤午後4時～午前0時30分・深夜勤午前0時～8時30分] (応相談)

☎ 病院総務課 ☎ 34-3175 (内線604)

3学科90人を募集! おだわらシルバー大学受講生

おだわらシルバー大学は、高齢者の新たな生きがいの発見と仲間づくりをお手伝いする生涯学習大学です。約200人の仲間が週1度の講義を楽しむ学んでいます。

対象 市内在住の60歳以上(平成11年4月

1日までに達する方を含む)、各学科30

人・抽選

日時 毎週火曜日午前10時～正午

場所 いそぎ、保健センター

受講料 年間9,000円

オリエンテーションと抽選会 5月26日(火)

午前10時 いそぎ

履修科目の概要

年間40単位(1単位2時間)3年コース、科目は一般教養科目(39単位)と専門科目(81単位)。一般教養科目は高齢社会、国際化、情報化、ボランティアなど。

詳しくは、支所・連絡所、マロニエ、いそぎ、図書館など市公共施設に置いてある募集パンフレットをご覧ください。

●小田原学教養学科

昔から伝わる地域の生活・文化から現在のまのちの特徴まで、小田原の昔・今・将来について広範囲に学びます。1、2年は合同で3年次にまちづくりコースとふるさと探究コースに分かれます。卒業後は世代間交流やまちづくりへの参加などの場面で自主的な活動を行います。

●学芸指導科・絵本コース

絵本や紙芝居などの制作、発声・演技の指導などをワイワイと楽しみながら学び、その成果を発表します。卒業後は卒業生のサークル「らっこの会」に加わり、活動することもできます。

●歴史観光学科

原始・古代・中近世・近現代と奥深い小田原の歴史や人物について学びます。卒業後は小田原ボランティアガイド協会に入会し活動することもできます。

☎ 5月1日(金)から、

生涯学習課 ☎ 33-1712



こども

児童対象の行事など

アニメ

A)かめ図書館会場

時間 午後1時30分～

定員 180人・先着順

プログラム

①4月19日(日) さるとかに(10分)、あしたぶたのひげたんじ(40分)

②4月26日(日) 虹猫のぼうけん(10分)、チビ六死満堂(児童劇48分)

③5月3日(日) 忍たま乱太郎 手裏剣コンクール 燃えるメニュー(25分)、クマのプーさん プーさんとほちみつ(30分)

■かめ図書館 ☎ 49-7800

B)市立図書館会場

日時 4月19日(日) 午後1時30分～

定員 80人・先着順

プログラム 忍たま乱太郎の交通安全(15分)、かんすげさんとふしぎな自転車(23分)

C)国府津公民館会場

日時 5月9日(土) 午前10時～11時30分

定員 70人・先着順

プログラム 三丁目物語 春「うちのタマ知りませんか?」(25分)、はなれこれぞうさま(19分)、長靴をはいた猫(43分)

■中央公民館 ☎ 35-5300

■国府津公民館 ☎ 48-2035

マロニエこども大会

①なかざと文庫の皆さんによる紙芝居、絵本読み聞かせほか

日時 5月3日(日) 午後2時～3時

②みんなで遊ぶうりゲーム大会

輪投げゲーム、魚釣りゲームほか

日時 5月5日(火) 午後1時30分～3時30分

■マロニエ ☎ 47-1515

スポーツ

各種スポーツ大会・講習会など

尊徳マラソン大会の結果

3月15日(日)、1,616人が参加しました。市内在住の入賞者は次のとおり(敬称略)。

10km男子 <29歳以下> 3位=井上慎一郎、4位=宇佐美清生、7位=池田雄紀

<30歳代> 3位=大久保明、5位=加藤学、8位=高橋信勝

10km一般女子 2位=土屋奈々、6位=鈴木文子

ハーフ男子 <29歳以下> 3位=小清水功、4位=青柳浩之、6位=宮盛勝正、7位=高田勇二 <30歳代> 1位=中山雅浩 <40歳代> 2位=鷺見信二郎、6位=田代滯夫 <50歳以上> 5位=富岡征雄、6位=湯川久雄

ハーフ一般女子 1位=島田明美、5位=神保裕子、6位=緒方さり
■体育協会 ☎ 24-0343小田原アリーナ
トレーニングルーム 利用者講習会

アリーナのトレーニングルーム利用者の講習会は、すでに5,500人を超える方が受講し、毎日80人以上の方が利用しています。受講には事前に予約が必要です。

午前9時30分～11時

5月2日(土)・8日(金)・10日(日)・16日(土)・24日(日)・30日(土)

午後6時30分～8時

5月12日(火)・20日(火)・28日(木)

定員 各日50人・先着順(中学生は保護者同伴)

■小田原アリーナ ☎ 38-1144

市民ゴルフ大会

期日 6月4日(木)

場所 小田原湯本カントリークラブ

対象 市内在住・在勤者・160人・先着順

参加料 小田原市ゴルフ協会員16,000円/一般18,000円(プレー、昼食、賞品、パーティーなど含む)

応募方法 5月8日(木)まで、市内のゴルフ練習場にある募集要項をご覧ください。

■ゴルフ協会・山口 ☎ 34-6441

募集

人員、参加者の募集など

「木の文化工房」スタッフ

小田原の伝統工芸の素材である「木」をテーマに、市民の手で、その美しさ・温もり・豊かさを小田原の地から全国に向け発信します。木にかかわる木彫展、写真展、フォーラムなどを企画・実施する「木の文化工房(仮称)」のスタッフを募集しています。対象 市内在住・在勤・在学の20歳以上・3人程度

任期 2年

応募方法 市民交流課(市役所5階)・商工課(市役所4階)にある申込書に必要事項を書いて、提出してください。

■4月15日(水)～30日(木)に、

市民交流課 ☎ 33-1706

商工課 ☎ 33-1515

男女共同社会づくり市民フォーラム実行委員

男女共同社会のための意識づくりについて、自分たちの手でテーマを決め、調査・研究し、フォーラムの企画・開催などをすすめるスタッフを募集します。

対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上

■4月15日(水)～5月14日(木)に、

女性行政課 ☎ 33-1725

北條五代祭りに
手作り甲冑隊
いざ、出陣!広報レポーター
上原直子

もうすぐ、小田原で最も盛大に行われる北條五代祭り。そこに手作りの甲冑を着て参加する方たちをご存じですか。今回は、そんな皆さんをご紹介します。

手作り甲冑隊は、4年前に商工会議所青年部の呼びかけで発足。今年は35人余りが1回の教室で開隊作りに挑戦しています。

甲冑の主な材料はダンボールで、基本的には廃材を利用しています。ダンボールの上に綿の布を貼り、ペンキをその上に塗っていく工程で作られます。赤・青・黄・緑など、自分の好みの色が細部に散らされ、美しく仕上げられています。とかく黒一色となりがちな甲冑が多様な色使いによって、生命を吹き込んだかのように生き生きとして見る人の目をとらえ、そして、それが全て手作りであるという点でさらに人々の心を魅了します。細かい作業が多く、手間ひまもかかるので、月1回の教室の時間だけでは到底仕上げられません。皆さんが仕事とのかみ合いを見つけては、空いた時間で作業を進めています。

市内の方が多い中、鎌倉や川崎から参加している方もいます。鎌倉の森屋さん親子は、歴史がとにかく大好きな雄貴くん(11歳)のために申し込まれたそうで、「去年の大名行列で見たとき、息子がぜひやってみたいと言ったので応募しました。この子が、これを着て北條五代祭りに参加することを思うと、とても楽しみです」と、笑顔で作業していました。

発足時から参加され、今では指導者としても活躍されている卯月康方さん、洋子さん夫妻は、お年寄りの方を対象とした甲冑教室も開いています。「最初は元気のなかったお年寄りも甲冑作りで、だんだん元気になられ、笑顔が見られるようになったときは本当に嬉しいです」。そうほしき一杯の笑顔で語ってくれました。

手作りしなごら、人と人との触れ合いの中でしっかりと絆もつづけている甲冑教室の取材の中で、心に温いものが流れるのを感じました。



イベント

各種催しものなど

市民ロビーコンサート 一菊地貴子・愛を歌うー

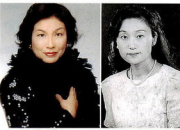
小田原市在住で、二期会ソプラノ会員の菊地貴子さんを迎え、歌劇「椿姫」より「乾杯の唄」「早春賦」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」など、四季の移ろいを歌でつづる日本の抒情歌メロデーをお贈りします。

日時 5月15日(金)午後0時20分～50分

場所 市役所2階市民ロビー

出演 歌(ソプラノ): 菊地貴子
ピアノ(伴奏): 上野典子

市民交流課 ☎ 33-1706



菊地貴子

上野典子

かながわ看護フェスティバル98 in おだわら

「看護はふれ愛、ささえ愛 5月12日は看護の日」をいかに言葉に、看護フェスティバルを開きます。

日時 5月9日(土)午前11時～午後4時

場所 中央公民館

内容 看護学生によるキャンドルサービス(午後1時30分～)、ミニコンサート(午後2時～3時30分)。そのほか、健康チェックコーナー、白衣試着コーナー、介護用品の展示コーナー、相談(道路・就職・介護)コーナーなど

東海大学看護部・斉藤 ☎ 0463-93-1121

災害時、あなたにもできる応急手当 5月12日は看護の日

人工呼吸、出血や骨折時の応急手当、けが人の運搬方法など、身近なものを利用して看護職員が指導します。

日時 5月11日(月)・12日(火) 午前9時～午後4時

場所 市立病院(病棟2階)

市立病院副看護部長室 ☎ 34-3175 内線531

リサイクルフェア

掘り出し物がいっぱい

大型ごみから再生した家具などを、安く提供します。リサイクルフリーマーケットも同時開催します。

日時 4月26日(日) 午前10時～午後3時

場所 環境事業センター

販売方法 希望者の多い品物は、午前11時に抽選します。11時以降は先着順になります。品物の配送はしません。

環境事業センター ☎ 34-7325
環境緑課 ☎ 33-1471

いこいの森でタケノコ狩り!

日時 4月19日(日)、26日(日)、5月4日(祝)

午前10時に、いこいの森駐車場(辻村植物公園寄り)に集合

定員 各日100人・先着順

入園料 100円。タケノコの持ち帰りは時価です。

申込 いこいの森 ☎ 24-3785



石垣山大茶会

石垣山一夜城で、茶会各流派の茶席と趣向をこらした一般参加の大会が開かれます。

日時 4月25日(土)・26日(日)午前10時～午後3時(雨天の場合は、4月27日(月)順延)

茶席券 2,000円(4席分) 三和、徳増各茶

道具店、葉の花、松坂屋本店、栄町松坂屋、山口菓子店で前売り中

■史跡ガイド

会場内では、おだわらシルバー大学歴史観光学部の学生が、豊臣秀吉の小田原攻めなど石垣山にまつわる歴史や史跡を案内します。希望の方は、事前に生涯学習課または、当日会場で申し込みを。

生涯学習課 ☎ 33-1720



すこやかかながわ1万人健康ウォーク

期日 5月23日(土)、(荒天時5月24日)

コース 横浜、山下公園周辺

①18kmコース 午前8時集合

②12kmコース 午前9時集合

③6kmコース 午前10時集合

参加料 1,000円 小・中学生500円

申込 5月8日(金)までに、参加申込書を請求

すこやかかながわ1万人健康ウォーク実行委員会事務局 ☎ 045-502-5663

5月3日小田原北條五代祭り 500年前の戦国時代へタイムスリップ

城下町おだわらの最大イベント・北條五代祭りが今年も5月3日に開かれます。北條鉄砲衆の銃声を合図に、総勢2000人もの市民参加の武者パレードが出陣します。

前日の2日は、潮本早雲寺で北條五代歴代城主の墓前供養が行われ、その後手作り甲冑隊が小田原駅までパレードします。また、前夜祭では、ゲストにしばたはつみさんを迎え、銅門・歴史民俗館完成記念の音楽祭やミス小田原のお披露目などがあります。詳しくは、広報おだわら4月1日号または、4月29日に新聞折り込み暮らしをご覧ください。



* 5月3日のパレードは小雨決行、強雨中止。決定は午前6時59分にラジオ日本(1485kHz)、小田原ケーブルテレビ(9ch)でお知らせします。

観光協会 ☎ 22-5002、N T ハローダイヤル ☎ 044-244-8600 (平日午前9時～午後8時)、日祭日午前9時～午後5時)

広報おだわら

April 15, 1998 No.721

m message



▲常盤木橋（ときわぎばし）
丸輪橋（くりんばし）ともいう。本丸の堀を渡るためのもので現在の橋は関東大震災の後に架け直された。



▲七枚橋（浜町・新玉小学校近くにあった）
小田原城のお堀の排水が蓮魔堂川（ごまどうがわ）となって山王川に注いでいた。この蓮魔堂川に架かっていたのが七枚橋。七枚の切り石を並べて造った橋であったことから、この名前が付いた。橋も川（蓮魔堂川）もなくなった今、橋の名前が地名となって残っている。



▲林佐太郎の石橋（南町・町田小学校東側にあった）
林佐太郎は江戸時代（1727年）小田原市南町（旧町田村）に生まれ、人々の橋脚となる行いを多く残した。戦前の小学校の教科書（修身）に出てくる小田原の人で、当時は二宮尊徳（金次郎）とともに知らない人がいないほどであった。
佐太郎は、町田小学校東側の用水路（穴部塚）に架かっていた木道の橋が大水で流されるなど不便であったため、自らの給料などを使い、これを石橋に変えた。現在、穴部塚の上はセメントで固められて歩道となり、石橋の石は町田小学校の校章（写真）などに残されている。



▲隅柱橋（すみやぐらばし）
昭和の初めに架けられ、最初は住吉橋を名乗ったが、平成元年に本来の住吉橋が復原されたのに伴い、その名を「本家」にもとした。現在の橋は昭和25年に架け直されたもの。



▲宇橋（まなびばし）
関東大震災の後、城内小学校（当時）への通学路として新たに架けられた。朱色の欄干が美しく、絵葉書にも使われていた。



▲馬出門土橋（うまだもんじばし）
二の丸の正面入口。通称「あがね橋」とも呼ばれるが、これは昭和になってからトンネルにしたため。橋は石垣でできている。

▲御茶茶橋（おちやつばし）
小峯橋ともいう。将軍献上の宇治茶が江戸へ向かう途中、この橋を渡って小田原城内の茶番小屋に運ばれた。お茶は一晩、小屋に留め置かれた。

小田原城に架かる橋



▲住吉橋（すみよしばし）
小田原城の御門へ渡るための木製の橋。平成元年に復原された。発掘調査では、橋脚が立ったままでは出土した。江戸時代の絵図には、橋のたもとに「住吉の松」と呼ばれた巨松がある。

橋に刻まれた歴史

川に架かる橋、道の上を通る橋、そしてお堀の橋。城下町・小田原にはさまざまな橋があり、それぞれに固有の歴史や趣がみられます。普段なにげなく通っている橋でもよく調べてみると、これまでに知らなかった素敵な一面を見ることができるともいえるかもしれませんね。

まちの橋あれこれ



▲辻掛橋（清勾・国道1号上、酒匂橋の東150m）
新編相模国風土記には、源朝が京都に向かう途中、この橋で橋原景時と逢談を詠んだという言い伝えがある。



▲旧青橋
青橋（城内）
今は青葉のお城にマッチしたモダンな橋となったが、先代は太平洋戦争の生き証人。機銃の弾が貫通したあとが生々しく残されている。銃弾のあとが残る部分は切り取られ、青橋から200メートルほどの所（田中稲前）に置かれている。

今は無き橋



▲無名の石橋（栢山・善徳記念館東側）
二宮尊徳の生家の東側を流れる農業用水路に架かる石橋。呼び名は特になが、長い歳月に苔（けい）むしたこの石橋は、近辺の水田を潤し続けてきた用水路の歴史を物語る。「かながわの橋100選」に選ばれている。

